

白 方 の 風

【学校教育目標】自ら学び考え、心豊かで
健やかに生きる児童の育成

令和7年度
No.35
東海村立白方
小学校
2026.1.9
児童数452人

昨年は本校の学校教育に対しまして多大なご支援ご協力を賜り心より深く感謝申し上げます。3学期も「すべての子どもの生命・健康、学びを保障して、可能性を引き出し、自分と、みんなが幸せや生きがいを感じながら生きることができる社会をつくる資質・能力を育む。」という理念のもと、「自立できる力・協働する心を・自己肯定感が感じられる風土」を育てられるよう努めて参ります。よろしくお願いいたします。

始業式の話

～ 学校で学習、生活できることは幸せなこと。 ～

今年午年です。午は、十二支の7番目の干支で、「馬」というエネルギーで自由な動物を象徴しています。午年は、活力に溢れ前進する力に満ちた年とされます。

特に、2026年は60年に一度の「丙午（ひのえうま）」にあたる年です。丙は自然界の太陽にあたるもので、その「丙」と「午」の行動力が合わさった、華やかでエネルギーな年になる可能性がある年です。

終業式の日にお話しした新しい年の目標が実を結び達成するよう、1日1日の積み重ねを大切にしたいと思っています。

4月の始業式で話した2つのことを成し遂げてください。「何をしたいか。」そのしたいことのために「どうしたらいいか。」この2つのことを繰り返し、繰り返し、自分に問いかけてください。学習でも生活でもやりたいこと、解決したいことを考え、そのためにどうするか、考えて行動していきましょう。そしてもう一つ「元気に過ごす。」ということです。そのために、いじめをしない、させない、許さない。登校班では班長さんについて、1列で落ち着いて歩く。学校でも家でも命が危険になる行動、怪我につながる行動をしない。仲間が困っているときに声をかける。交通安全の決まりを必ず守る。こうしたことを続け、「元気に過ごす。」ことを続けていきましょう。3学期は学校で学習や生活ができる日が50日程度しかありません。終業式でも話しましたが、平和で安心して学校に登校できる、お家で生活できることに感謝しながら、1日1日を大切に、一生懸命に学習に取り組み、何があってもあきらめない気持ちで様々な活動に取り組んでいきましょう。

給食に関する行事

～ 12月は給食に関する行事や工夫した献立などが多くありました。～

12月は3日（水）に村松幼稚園、22日（月）に百塚保育所の幼児が白方小学校の給食の試食に来校しました。学校のランチルームで食べる給食は、園や所とはひと味違った味がしたようです。12月2日（火）～5日（木）には「地場産物活用強化週間」として、茨城県産や東海村産の食材を多く使用し、茨城県の魅力を広める献立で給食が提供されました。県産のごぼう、ピーマン、ニンジン、村産のお米などが食材として使われ美味しい給食が提供されました。

さらに、12月17日（水）にはオーガニック給食がありました。有機栽培で育てたさつまいもを使用した給食が提供され、村長さん、副村長さん、村産業部農業政策課、教育委員会の皆様が3年生と一緒に会食なされました。化学肥料を使用しない、自然に優しい栽培方法がオーガニックであるといった話を会食前に栽培業者の方から伺いました。また、給食前には3年生が「有機栽培」とは、化学肥料や薬品を使用しない、土や動植物に害を与えない自然にやさしい栽培方法であり、その栽培方法には多くの手間がかかることを有機栽培をしている業者の方からお話を伺いました。イモゾーも来校して、児童と一緒に有機栽培の話を聞き、その後に児童と共に集合写真を撮りました。みんなとても嬉しそうでした。毎日のように食べているおいしい給食は児童の元気の源の1つです。食材をつくれる方、運搬される方、調理される方、配膳・配食する仲間や先生方、そして、何といたっても私たちに命を下さる動植物、その動植物を育てる自然に感謝して、日々の給食や食事をいただきたいと思います。

